

全道ブラックアウトから考える 北海道のエネルギー問題

報告1 全道停電から復旧まで：

電力広域的運営推進機関の停電検証委員会の議論から考える

報告者 山形 定 さん（道地域・自治研副理事長、NEPA理事長）

報告2 全道停電が市民に与えた影響：アンケート調査の報告

報告者 秦 雄太郎さん（北海道大学工学部 環境工学コース4年）

意見交換 これからの北海道のエネルギーを皆で考える

2018年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震は震源近くの厚真町で震度7を記録し大規模な土砂崩れを起こしました。この地震で苫東厚真発電所は全停止しましたが、その後発生した北海道電力の会社全域に渡る停電「ブラックアウト」は、被害を道内全域に広めました。

史上初のブラックアウトの発生と復旧のプロセスは、国の認可法人である電力広域的運営推進機関に設置された「平成30年北海道胆振東部地震に伴う大規模停電に関する検証委員会」で検証が進められています。そこでは全道停電および復旧の過程が技術的面から議論されていますが、私たち道民が受けた被害についての検証はなされていません。検証委員会でなされている議論の紹介、NEPAの行なっているアンケート調査の結果の報告を聞き、私たちが北海道のエネルギーをこれからどうしていけばよいかについて意見交換します。

会 場

2018年 **11月20日** 火
午後6時30分～8時30分

札幌エルプラザ
2階 環境研修室1.2

資料代200円（自治研・NEPA会員および学生は無料）

主催：NPO法人 北海道地域・自治体問題研究所

問い合わせ先 Tel:011-837-8261, Fax:011-837-8262, E-mail: whitedojichiken@yahoo.co.jp

共催：NPO法人 北海道新エネルギー普及促進協会（NEPA）